

平成31年度 学校教育目標

京都市立音羽中学校

◇ 学校教育目標

○ 「自ら学ぶ力」・「自ら考える力」・「豊かな心」を育み
実践力を高め、これからの中の未来を創造するたくましい生徒の育成
～「音羽中学校に来てよかったです」と思える生徒の育成～

1 めざす生徒像・教職員像・学校像

〔めざす生徒像〕

1. 自ら学ぶ力を持つ生徒

- ① 物事に興味・関心を持ち、主体的・意欲的に学ぶ生徒
- ② 自己を高めるために広い視野を持ち、知性や創造力をのばす生徒
- ③ 毎日の自学自習の習慣を身につける生徒

2. 心身ともに健康で、心豊かな生徒

- ① 互いを認め合い、自他の生命を大切にする優しさと思いやりのある生徒
- ② 優れた感性を持ち、礼儀正しい生徒
- ③ 自主・自律の心に富み、正しい判断ができる、実践力のある生徒

3. 実践力を高め、これからの中の未来を創造するたくましい生徒

- ① 希望と勇気をもち、粘り強く努力する生徒
- ② 積極的に自分の役割をやり遂げる生徒
- ③ 何事にも負けない強い意志と責任感をもち、忍耐力のある生徒

〔めざす教職員像〕

1. 生徒の命を守りきる教職員 生徒の様子の変化や悩みに迫る教職員
2. 職責を自覚し、専門性を高めるとともに常に研究・研修・実践に努める教職員
3. 使命感をもち、社会の変化を見据え、生徒・保護者・地域の人々に信頼される教職員
4. 一人ひとりの子どもを理解し、寄り添い、生徒理解を深め、愛情を持って接する教職員
5. 「困り」のある子どもの教育課題を理解し、支援を行う教職員
6. カリキュラム・マネジメントの視点をもって実践に努める教職員
7. 心身の健康を心がけ、働き方改革を進める教職員

〔めざす学校像〕

1. 美しく落ち着きのある学校
2. 自主的・積極的に活動に取り組む、活気に満ちた学校
3. 人間尊重の精神にあふれ、友情と信頼に満ちた明るい学校
4. 家庭や地域と連携を深め、人を大切にする心を育てる学校

2 平成31年度 学校経営の重点

1. 「教育目標」「めざす生徒像」「めざす教職員像」「めざす学校像」を達成するために教職員の意識改革を図るとともに、PDCAサイクルを展開し、創造的、組織的な学校運営を推進する。
2. 基礎・基本の定着を図るとともに、新学習指導要領で育成を目指す生徒が主体的・対話的で深い学びのある授業に取り組む学習指導の工夫と研究に努める。
3. キャリア教育の視点から、ACT（総合的な学習の時間）や特別活動の時間を設定し、生徒が自分の夢や目標を持ち、自分の進路を切り拓く力をつける指導を行う。
4. 家庭や地域社会の教育要求に応え、地域や家庭との連携を密にし、信頼される「開かれた学校づくり」を推進する。
5. 心豊かな生徒を育てるため、道徳教育、人権教育を推進する。
6. 学校評価計画に基づいて生徒の実態や保護者の要望を把握し、評価結果から学校運営の検証と改善を行う。
7. 音羽中学校ブロックの小中一貫教育の充実を図り、「学びの連続性・接続」を推進する。（学力向上事業推進校）

＜管理運営面＞

1. 快適で美しく安全な教育環境を作るため、教育環境の美化・整備に努める。
2. 効果的な教育活動推進のため、計画的に教材・教具の整備・充実・活用・開発・研究に努める。
3. 危機管理マニュアルの周知徹底と安全管理の点検と徹底及び防災教育の充実を図る。
4. 学校運営の実行化を図るため、協力して主体的・積極的に校務分掌を遂行する。
5. 教育効果を一層高めるための学校教育予算の効率的配分と計画的な効果ある活用に努める。

3 重点目標

1. 教職員が協力して自主的・積極的に教育活動に取り組む活力ある学校
 - ① 明るく元気に生徒の前に立つことを何よりも大事にする
 - ② 3つの「ワ」を大切にする。（「フットワーク・チームワーク・ネットワーク」）
 - ③ 悩みや困り感を一人で抱え込まず、「チーム音羽」の力で解決、解消に努力する。
2. 規範意識の育成を目指す生徒指導の充実
生徒の言動に対して高いアンテナを持ち、気になる言動に対して、「報告・連絡・相談」を密にして、生徒指導にあたる。（「見逃しのない観察、手遅れのない対応、心の通った指導」）毅然とした態度で指導を行う。
3. 基本的生活習慣の定着に向けた取組の推進
生徒会・部活動を中心とした生徒による自主的活動の推進
4. 各教科・領域において、その目標を達成するために言語活動（思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力等、つけたい力を明確にした）を取り入れた授業の改善に努める。この活動のツールとして、図書館を活用した授業とICTを活用した授業に積極的に取り組む。
5. 全国学力・学習状況調査 及び 学習確認プログラムの活用
 - ①全国学力・学習状況調査 及び 学習確認プログラムの結果の分析による学力実態の把握
 - ②予習シート・フォローアップシートの効果的活用による基礎・基本の定着
<具体的な指標として、指数100以上を目標とする。>
6. 命を大切にし、自他を大切にし、感動する心や豊かな感性を育む。そのために道徳教育の充実を図る。
7. 不登校生徒や困りを抱えた生徒に対する積極的な支援を図る。（関係機関との連携）
8. 生徒の活躍が充実する生徒会活動の活性化を進める。
9. 生徒指導・学習指導の課題克服に向けた音羽中学校ブロックの小中一貫教育を推進する。
10. 学校運営協議会の組織を発展的に見直し、開かれた学校づくりを推進する。